

膵上皮内癌の画像・病理所見に関する多施設共同研究

1. 研究の対象

2006 年 1 月～2017 年 12 月までに外科的手術にて病理組織学的に通常型膵管癌の Stage 0 と診断された方（手術術式は問わない）

2. 研究目的・方法

膵臓癌は予後不良な悪性腫瘍で、予後の改善には、更なる診断や治療の進歩が望まれます。しかしながら、膵臓癌は早期発見が難しく、発見時はすでに浸潤癌であることが、ほとんどです。近年、膵臓の上皮内癌の報告が散見されるようになりましたが、症例が少ないため、その臨床像も不明です。

今般、膵癌早期診断研究会（JEDPAC）では、通常型膵癌の Stage 0 を 51 例、および Stage I を 149 例集積し、その臨床所見の特徴を報告しました 1)。

今回、その報告を踏まえて、診断の過程において頻用されている CT、MRI、EUS、ERCP の所見をさらに詳細に解析し、病理学的所見と比較検討することで早期診断の契機となるべき画像所見を明らかにすることを目的とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- A: 臨床情報 年齢、性別、生年月日、診断時年齢
- B: 診断に用いた画像所見（US、CT、MRI、EUS、EUS-FNA、ERCP）
- C: 細胞診・病理診断、病巣の範囲、大きさ
- D: 予後など

送付された臨床情報は JA 尾道総合病院において保管し、臨床情報を解析する上で使用します。

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

症例報告書（CRF）は各施設により記入され、連結可能匿名化後、JA 尾道総合病院に送られます。

5. 研究組織

参加予定施設ならびに共同研究者

| 施設名 | 研究者 |
|-----------|----------------|
| JA 尾道総合病院 | 花田敬士、栗原啓介、清水晃典 |

様式第 1-5 (2018. 4. 1 版)

| | |
|---------------|----------------------|
| 東北大学 | 菅野 敦、古川 徹(病理コンサルタント) |
| 愛知県がんセンター中央病院 | 清水泰博 |
| 手稲溪仁会病院 | 真口宏介、瀧沼朗生 |
| 福岡大学筑紫病院 | 植木敏晴 |
| 九州大学 | 大塚隆生、中村雅史 |
| 和歌山県立医科大学 | 北野雅之 |
| 近畿大学 | 竹中 完 |
| 東京都立駒込病院 | 菊山正隆 |
| 金沢大学 | 蒲田敏文 |
| 川崎医科大学 | 吉田浩司 |
| 県立広島病院 | 佐々木民人 |
| 広島大学 | 芹川正浩 |
| 大阪国際がんセンター | 蘆田玲子 |
| 京都第二赤十字病院 | 安川 覚 (病理コンサルタント) |
| 京都第一赤十字病院 | 柳澤昭夫 (病理コンサルタント) |
| 北野病院 | 八隅秀二郎、栗田 亮 |
| 仙台市医療センター | 越田真介 |
| 東京女子医大 | 高山敬子 |

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

大阪国際がんセンター 検診部 消化器検診科 蘆田 玲子

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究代表者

花田敬士

JA 尾道総合病院 診療部長

様式第 1-5 (2018. 4. 1 版)

〒722-8508 広島県尾道市平原 1-10-23

TEL : 0848-22-8111

FAX : 00848-24-8811

E-mail: kh-ajpbd@nifty.com

研究事務局

栗原 啓介

JA 広島厚生連尾道総合病院 内科部長

〒722-8508 広島県尾道市平原 1-10-23

TEL : 0848-22-8111

FAX : 0848-24-8811

E-mail: t.minami@beach.ocn.ne.jp

共同臨床研究機関：膵癌早期診断研究会

代表世話人：JA 尾道総合病院診療部長 花田 敬士

-----以上